

総合戦略実行計画（平成30年度当初予算版）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	資料
1	<p>広報について、「新旧住民間の交流促進」として具体的にどのような意味合いで事業を考えたのか。また、「自分のくらす地域を好きになる」との違いはどのようなことなのか。</p> <p>また、フェイスブックの活用については、既存の内容も良いと思うが、市政の進行を確認する手段として、総合戦略の事業の進捗をフェイスブックにおいて確認等ができればよいと思うがどうか。</p>	<p>「新旧住民間の交流促進」について、現在のところ具体的なものはない。しかし、フェイスブックについては当初、地域の再発見を主に掲載していたが、現在は市内の様々な事業を掲載し、富津市の魅力発信に努めている。</p> <p>また、例えばバスストップ設置の進捗状況のようなものについて、要望があれば積極的に掲載していきたいと考える。</p>	秘書広報課	無	資料2 P10、40
2	<p>富津埋立記念館の利用者数について、県外へのPRをすればもっと利用者が伸びる魅力あるコンテンツだと思う。プロモーションの仕方に問題があると思うが、県外への出前講座実施の検討や民間事業者との連携等の考えがあるのか。</p>	<p>人員の関係で現状でも他課の学芸員資格を有する者に出前講座や古墳等の案内に協力してもらっている状況である。積極的なPRはできていないのが現状である。</p>	生涯学習課 公民館	無	資料2 P11
3	<p>「市民が誇れる市の顔づくり関連事業補助金」について、補助金の補助期間が3年間となっているが、どのような考えで3年間としたのか。</p> <p>また、それ以降についてはどのように考えているのか。</p>	<p>市としては、特色ある地域づくり活動の「立ち上げ」に対しての補助としていることから、補助期間終了後は自主的な活動としてお願いすることとしている。</p>	市民課	無	資料2 P13
4	<p>今後、大地震等により自主防災組織の活動中にけが等、何かあった場合にはどのような補償があるのか。</p>	<p>「市民活動災害補償制度」により、自主防災組織の活動中のけが等を補償する。しかし、自主防災組織の無い地域住民が活動中に災害に遭われた場合には、本制度の補償対象外となるため、是非とも自主防災組織の立ち上げにご協力いただきたい。</p>	防災安全課	無	資料2 P24
5	<p>自主防災について、私自身、私立保育園を運営しており、3日分の食料等の備蓄を行い災害等に備えているが、公的な避難場所への支援とは別に、4日目以降の保育実施についての支援については、どのように考えているのか。</p>	<p>保育については、おおむね4日目以降から応急保育として保育をしていただくように富津市地域防災計画にも記載している。災害時、公立・私立問わず、保育できる体制を確保していただき、施設側の協力により保育をお願いしたいと考えている。</p>	防災安全課	無	資料2 P24
6	<p>公共交通機関について、JRでの移動が不便であるとの意見がある。ダイヤ見直しの施策を盛り込んでもらいたい。</p>	<p>昨年3月のダイヤ改正に伴い、昼間の乗り継ぎが必要になったことは事実だが、朝・晩の時間帯の変更は無いのも事実である。そのため、いつ、どの時間のダイヤが</p>	企画課	無	資料2 P28

総合戦略実行計画（平成30年度当初予算版）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	資料
		不便なのか、というところまで具体的に確認していく必要があると考える。			
7	バスは乗る人が少ないから補助しなければいけない。その結果、補助金も上がっている。大型バスだけを見るとこのような状況となっているが、人口減少下では便利なコミュニティバスなどに切り替えるなど、方法を考え直していかなければと思うがどうか。	<p>パブリックコメントにおいても、委員と同様の意見があった。それも踏まえて、地域の需要、乗る人のための交通網というものを掲げている。</p> <p>また、参考までに、全国的な傾向としては、大型バスとタクシーであっても、経費はおおむね人件費となっている。車両の耐用年数等についての違いはあるが、小型にしたからといって必ずしも経費の削減にはならないのも事実である。市が委託したコミュニティバスとバス路線の経費は、ほとんど変わらないというデータが出ている。</p>	企画課	無	資料2 P28
8	浅間山バスストップの設置によりJRや市内への交通網との連携はどのようになるのか、現状を知りたい。	<p>浅間山バスストップ設置によるJRや市内への二次交通については、市内事業者及び市民から聞いた結果、それほどニーズが無いということであるため、カーシェアリング等の導入を検討する予定である。</p> <p>また、既存の高速バスが何便になるか等も、利用者のニーズで決まるものなので、バス事業者とも調整しながら進めていきたい。</p>	企画課	無	資料2 P28
9	<p>スポーツ施設、公園利用について、利用状況を見ると、空きがある施設が多いことから、県外の方へのPRが必要だと感じる。利用方法等についても一緒に考えていきたいが、誰に相談すればよいのか。</p> <p>管理事務所に行くと管理するだけなので何もできないと言われてしまう。県外では定期的な利用を検討される方もいるため、年間を通しての様々な企画を一緒に考えていけるような連携の仕組みづくりをお願いしたい。</p>	<p>県外へのPRについては、施設利用振興公社ホームページや市のホームページで行っており、特に野球場の利用については県外の方にも非常に人気がある。現在も商業施設にパンフレットを置くなどしているが、周知等について拡大できることがあれば施設利用振興公社と検討していきたい。ふれあい公園の利用方法等については、施設利用振興公社に確認をお願いしたい。</p> <p>現在の指定管理委託が平成30年度までとなっていて、平成31年度からは新たな指定管理者を選定する。選定については直接指定ではなく、事業仕分けの意見等から</p>	都市政策課	無	資料2 P32

総合戦略実行計画（平成30年度当初予算版）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	資料
		公募による選定を検討していて、その中で運用面を重視していききたい。			
10	火葬場について、万が一新しい火葬場が事故等により使用できなくなった場合、バックアップのようなものはあるのか。 想定外の事が起こることもあるので、バックアップ体制については危惧している。	防災面については十分考慮して設計している。一部で現在使用している火葬場を残した方がよいとの意見もあったが、広域のスケールメリットを活かした継続的な営業を検討しているのでご理解いただきたい。 バックアップ体制の検討については、地域連携の中で今後も検討の余地があると考えてるので、継続して検討していききたい。	環境保全課	無	資料2 P35
11	結婚支援事業とあるが、一生懸命縁組しても、結婚後に市外に転出してしまう。このような状況を市はどのように捉えているか。	利便性等については、近隣市に勝てないかもしれないが、行政として、子育て世代に対して、これがあるから富津市に住もうと思ってもらえるような施策をどんどん行う。また、子育て世代の方から意見をもらいながら、喜んでもらえるような取組を行っていく。	市民課 子育て支援課	無	資料2 P48
12	ふれあいスポーツフェスタの参加者数についての成果目標だが、直近3箇年が減少傾向にある中で平成30年度以降は3,000人と増加している。減少の要因を理解した上で具体的な施策が無いと目標人数の達成にはつながらないと思うが。	参加者数増の具体的な実施内容については、実行委員会により検討を進めていくが、参加者数はスタッフの人数も含んでおり、その人数の増加も検討している。	生涯学習課	無	資料2 P49
13	ふれあいスポーツフェスタについて、市外・県外からの参加者を募り交流行事にすることは可能か。	検討したい。	生涯学習課	無	資料2 P49
14	ワークショップとは、具体的にどのようなことをするのか。	「親子集いの場 なかよし」を利用し、子育て中の親子が集まりたいと思う場所について意見交換し、検討する。	子育て支援課	無	資料2 P65
15	地域交流支援センターとはどのようなものか。	未就園児とその親に、育児相談や仲間づくりの場として利用してもらおう。また、病後児保育の機能も併せているセンターである。	子育て支援課	無	資料2 P66
16	地域交流支援センターの設置の背景とは。また、利用の際	天羽地区の方が既存の「あおほり子育てサロン」や「も	子育て支援課	無	資料2

総合戦略実行計画（平成30年度当初予算版）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	資料
	に料金は取るのか、市外・県外の方は利用可能なのか、建物以外の運営のためのソフトコンテンツはどのようなものなのか。	うひとつのお家」を利用するには地理的にも不便であるとの声があった。現在は民間保育園のみで担っていただいております、市全体で子育て支援の力を上げることから、公設での実施も必要と考えた。設置場所については、既存の「天羽老人憩の家」を用途変更して利用する。利用料金は無料、市外の方も利用できる。運営上のソフトコンテンツについては、今後、「親子集いの場 なかよし」等を活用し、ニーズを吸い上げる。また、地域を取り込んだ支援策となるように調整していく。			P66
17	子供自身が「こども110番の家」を知っているのか。その家に実際に飛び込んでいけるような関係づくりはできているのか。 また、「駆け込み訓練」とは、どのような訓練か。	<p>学校長の協力により「駆け込み訓練」の実施や周知を行っている。「こども110番の家」については、協力いただける方を募っているが増えていないので、今後も呼びかけをしていきたい。</p> <p>「駆け込み訓練」とは、富津警察署、セブンイレブンジャパンの協力により、飯野小学校の児童が訓練した。設定としては、路上で不審者が出た事を想定し、その際の大声の出し方や逃げ込み方等を実際に訓練した。また、セブンイレブン店舗への逃げ込み方や店員への報告の仕方等を訓練した。この訓練には、区長や飯野地区の見守り隊も参加していただいた。</p>	学校教育課	無	資料2 P67
18	工業用地への企業誘致にも関係するが、注目を集めるためにも目立つイベントを開催したいのだが申請窓口はどこになるのか。	新富地区の埋立地に関しては、千葉県企業土地管理局土地分譲課が窓口となり、その他の遊休地については土地所有者に確認することになる。イベント等の相談については市の商工観光課へお願いしたい。	商工観光課	無	資料2 P74
19	地元産品の直売所設置については新規事業であり、平成30年度の事業内容のみの記載となっていて、民間活力により特産物直売所の設置を促進するとしているが、民間活力をどの程度想定をしているのか。	生産・製造者側からの要望としての直売所である一方、市としても魅力発信につながると考えている。今後、市としては、施設整備、運営等をできる限り民間にやっていただきたいと考えるが、全国的な事例等を集め検討していきたい。	農林水産課 商工観光課	無	資料2 P82

総合戦略実行計画（平成 30 年度当初予算版）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	資料
20	耕作放棄地について、太陽光パネルの設置が乱立しているが、農地として保全しながら市民も活用できるようになればと思う。多様性という観点で市はどのように考えているのか。	耕作放棄地が増えると農作物の生産機能が低下し、それと同時に生活環境の低下も招いてしまう。まずは、農業者に農地の適切な維持管理を行ってもらわなければならないが、従事者の高齢化や担い手不足も深刻である。そのため、担い手を支援し、集積、集約を行うよう推進している。 また同時に、市外から移り住んだ方等が小規模の農地でも利用できるように、農業委員会に対して規制緩和の要望を行っていく。	農林水産課	無	資料 2 P 88
21	鋸山の文化遺産登録について、実行計画では、関係者・有識者等の検討会を平成 31 年度としているが、遺跡調査は大分進み資料もそろってきていると思うので、開催年度を早められないか。	前倒しで平成 30 年度に 1 度開催できればと考えている。	生涯学習課	無	資料 2 P 94
22	鋸山の文化遺産登録については、国内外問わず重要なコンテンツであるので、是非推進してもらいたい。	鋸山は、外国人が訪れたい場所でも第 2 位という報道もあり、脚光を浴びているのも感じているが、交通網やトイレ・休憩所などの受入体制整備が人気に追いついていないとも感じている。早急に検討を進めていきたいと考えている。	生涯学習課	無	資料 2 P 94
23	地域としても、特に担い手の高齢化を痛感している。そのため、若者の出番や地域への参加・参画意識についても目を向けていかなければならないと思う。	総合戦略そのものの目標が「人口減少社会になっても市民が幸せを感じられるまちづくり」であることから、地域・民間・市民ができること等を組み込み、それについてインセンティブになるような様々な事業を取り組んでいる。今後も地域・民間とともに、行政も一緒に取り組んでいく。	企画課	無	全般
24	富津市は、東京から 1 時間という立地だが、テレビを見ると南房総市や館山市にばかり関心が向けられているように感じる。「富津市のあるべき将来像」とはどのようなものか。	富津市の魅力を知ってもらい、広く知らしめていただき、若者を刺激して移住をしてもらうということが、今後の目指すべき将来像であると考えている。富津市の魅力は私たちが知っているものだけではないということを再確認しなければならない。富津市に来ている人達の情報	企画課	無	全般

総合戦略実行計画（平成30年度当初予算版）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	資料
		<p>をしっかりと捉え、自分たちも富津市の魅力に自信を持つことが重要であるということを意識し、今後の事業に取り組んでいきたい。</p>			
25	<p>広域連携化については、水道、火葬場以外の生活関連においても重要であると考えるので、今後は調査費等についても検討する必要があると思う。また、成果目標を捉える上では、安定供給も大切だが、広域連携による効率化の観点も重要であると考え。</p>	<p>水道事業の広域化については、4市及び千葉県との話がまとまっている内容を掲載しているが、その他の公共施設等についても、長期的かつ安定的な運営の観点からは広域化を検討していくことが考えられるので、できることから、また、まとまることから検討していきたい。</p> <p>また、KPIについても、表記方法等を考慮していきたい。</p>	企画課	無	全般